



内科系の診療科

Guidance of Internal Medicine

内 科	13
リウマチ科	14
アレルギー科	15
糖尿病・代謝・内分泌内科	16
感染症内科	17
総合診療科	18
血 液 内 科	19
消化器内科	20
脳神経内科	21
呼吸器内科	22

内 科

Internal Medicine



部長
時永 耕太郎

診療科挨拶

近年医療の専門性が向上、追求され当院でも循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、脳神経内科と分化、さらにリウマチ科、アレルギー科、糖尿病・代謝・内分泌内科、感染症内科と内科系診療科は分化再編成されました。一方で患者さんにとっては内科疾患でありながら「専門外」ということで受診がかなわない、高齢で基礎疾患が増え複数の専門科に通うことを余儀なくされてしまう状況があります。一人一人の患者の疾患背景、価値観、社会的環境も違うのは当然のことです。このことをしっかり理解し、臨機応変に対応していくことが内科医の腕のみせどころと考えています。誤嚥性肺炎、老齡からの多疾患・衰弱などは内科系診療科全体で対応する必要があると考えています。ジェネラルマインドを持った専門医、内科専門医として内科系全体で地域医療に貢献していきたいと考えています。

主な対象疾患、診療内容

いわゆる一般内科、診療科を特定できない内科系疾患の入院診療は各内科系診療科を含めて分担して診療しております。

腎臓内科の標榜はありませんが腎臓内科専門医は常駐しており対応しております。

特 色

ほぼすべての内科系専門医がおり内科系全体をカバーしています。

日本内科学会認定教育病院となっております。

ご紹介いただくときの留意事項

当院では内科系診療科の分化が進んでおり診療科が特定できる場合は各内科系診療科(循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、脳神経内科、リウマチ科、アレルギー科、糖尿病・代謝・内分泌内科、感染症内科)を診療のご案内を参照してご紹介いただきたいと思います。紹介先が不明確な場合、入院治療を要するような2次救急のご紹介は紹介元医師から当院内科系医師への直接医師同士でご相談させていただきます。その際は**医療機関専用ダイヤル(365日24時間対応)**をどうかご使用ください(必ず医師からの電話をお願いします)。

紹介先が不明確な際(緊急入院が想定されない場合)には総合診療科宛に紹介をお願いいたします。

お断りしている疾患等

末期腎不全患者の透析導入・維持透析は行っておりません。その際は他院を紹介させていただいております。

◆紹介予約のご案内◆

ご紹介いただく際は、患者さんからの待ち時間短縮のため「医療機関からのFAX予約」をご利用ください。
患者さんには、診療情報提供書をお渡しいただきますようお願いいたします。

【FAX予約】専用FAX 047-712-2573 受付時間 8:30 ~ 17:00

当院宛の診療情報提供書をお持ちの患者さんは、「患者さんからの電話予約」もご利用いただけます。

【電話予約】専用電話 047-712-0685 受付時間 8:30 ~ 17:00

●医師一覧

氏 名	役 職	出身大学	専門分野	紹介していただきたい疾患又は症状
時永 耕太郎	副院長 兼 内科部長	山形大学	内分泌・代謝 糖尿病	コントロール不良の糖尿病 内分泌異常を疑う場合
高村 大	副院長	千葉大学	呼吸器・内科一般 緩和ケア	慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息
安藤 拓志	部 長	千葉大学	呼吸器・内科一般	慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息
大久保 友子	医 長	東海大学	内分泌・代謝 糖尿病	
湯澤 航平	医 員	日本大学	内科一般	
松本 佳大	医 員	東海大学	内科一般	
千 磨耶	医 員	帝京大学	内科一般	

リウマチ科

Rheumatology



部長
海辺 剛志

診療科挨拶

過去20数年にわたり、リウマチ性疾患は診断、治療両面において著しい変遷を遂げてきました。次々と新薬が登場し、以前は考えられないほどに病気をコントロールすることが可能となってきました。その反面、極めて専門性の高い分野となり、一般の医師が対応することが困難な疾患となっています。当科は日本リウマチ学会指導医2名、専門医1名が常勤し、東葛北部地区におけるリウマチ、膠原病診療の要として、疾患そのものの治療やそれに付随する合併症の管理を含め対応しています。手術が必要と判断した場合は整形外科と連携して対応します。また診断困難な関節炎や不明熱の精査も積極的に受け入れていますので、医療機関でお困りの症例がありましたらご連絡ください。

主な対象疾患、診療内容

リウマチ・膠原病

- 関節リウマチ ●各種膠原病 ●脊椎関節炎
- 皮膚疾患に伴う関節炎
- 不明熱 ●原因不明の関節炎

特 色

リウマチ・膠原病

- 関節リウマチは個々の症例に応じて抗リウマチ薬、生物学的製剤、分子標的薬などを用いた治療を行っています。膠原病に対してはステロイド、免疫抑制剤を病態に応じて使用し、重症例に対しては生物学的製剤や血液浄化療法などを併用した治療を行っています。また感染症などの合併症の管理も随時対応可能です。

- 不明熱症例の原因検索も積極的に行っております。遺伝性の発熱疾患が疑われる場合、必要に応じて遺伝子検査も可能です。

研修認定施設など

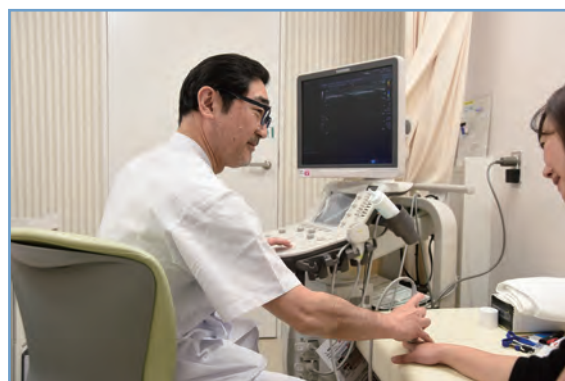
日本内科学会、日本リウマチ学会の認定教育病院の指定を受けています。

ご紹介いただくときの留意事項

- 各曜日で初診担当医が異なるため、確認のうえご紹介をお願いいたします。
- 紹介先が不明確な際には、総合診療科宛てに紹介をお願いいたします。

お断りしている疾患等

変形性関節症が確定した症例は近医整形外科での管理をお願いしています。また線維筋痛症の長期の管理は他院をご紹介させていただいております。



◆紹介予約のご案内◆

ご紹介いただく際は、患者さんからの待ち時間短縮のため「医療機関からのFAX予約またはWEB予約」をご利用ください。患者さんには、診療情報提供書をお渡しいただきますようお願いいたします。

【FAX予約】専用FAX **047-712-2573** 受付時間 **8:30 ~ 17:00**

【WEB予約※】<https://reservation.form.medigle.jp/matsudo/login> 24時間受付

※ご利用にあたっては事前登録が必要となります。

当院宛の診療情報提供書をお持ちの患者さんは、「患者さんからの電話予約」もご利用いただけます。

【電話予約】専用電話 **047-712-0685** 受付時間 **8:30 ~ 17:00**



●医師一覧

氏 名	役 職	出身大学	専門分野	紹介していただきたい疾患又は症状
海辺 剛志	部 長	名古屋市立大学	アレルギー性疾患 リウマチ・膠原病	左記以外に不明熱 原因不明の多発性関節炎
高橋 健太郎	部長代理	千葉大学	アレルギー性疾患 リウマチ・膠原病	左記以外に不明熱 原因不明の多発性関節炎
松木 彩子	医 長	千葉大学	アレルギー性疾患 リウマチ・膠原病	左記以外に腎疾患

アレルギー科

Department of Allergy



部長
海辺 剛志

診療科挨拶

アレルギー疾患は文明病とも言われ、患者数は増加しています。命に関わることは少ないものの、いつアレルギー症状が出るか不安を感じながら生活するため、“生活の質(Quality of Life; QOL)”を落としてしまいます。当科では、アレルギー専門医・指導医を中心とした経験豊富な医師による専門的な診療を行い、患者さんの不安を取り除き、“生活の質”を向上すべく努めています。喘息患者のうち5-10%程度である重症喘息患者の診療や、他院では施行困難な外来皮膚テストや入院でのチャレンジテスト（負荷試験）など、専門性の高い診療が可能なおことに加えて、総合病院の強みを生かし、必要に応じて他科と連携をとって診療にあたっています。

主な対象疾患、診療内容

- 気管支喘息 ●アナフィラキシー ●食物アレルギー
- 薬剤アレルギー（小児は除きます）

●気管支喘息

気管支喘息は吸入ステロイドの普及により、90%以上の患者さんで良好なコントロールが得られるようになりました。しかし、一部の患者さんでは発作を繰り返し、しばしば救急外来を受診し、入院を余儀なくされます。当科では血液検査や呼気NO検査、呼吸機能検査などを用いて喘息の診断や評価を行い、コントロールが不十分であればその原因について、患者さんの生活背景や吸入手技なども考慮しながら指導を含めた治療を行います。

ます。慢性副鼻腔炎、好酸球性副鼻腔炎を合併している患者さんでは、喘息が重症となりやすいため、必要に応じて耳鼻いんこう科とも連携して診療を行います。重症喘息の患者さんでは生物学的製剤により治療成績が向上しております。

- アナフィラキシー ●食物アレルギー
- 薬剤アレルギー

アナフィラキシーは、何らかの刺激により急速に生じるアレルギー症状で、循環器症状や呼吸器症状なども起こり得ます。生命にかかわることもあり、アナフィラキシーの原因を調べることはその後の人生を安全に、安心して過ごすために非常に重要です。主に薬剤や食物などが誘因となります。当科では皮膚テスト（プリックテスト、皮内テスト）やチャレンジテスト（負荷試験）を行い、アナフィラキシーの原因や、投与して問題のない薬剤を調べています。皮膚テストは安全性が高く外来で行いますが、チャレンジテストはアナフィラキシーのリスクを考慮し、原則入院で行っています。アナフィラキシーで亡くなる方の3分の2は、病院に到着する前に亡くなっています。そのためアナフィラキシー発症時にすぐに対処できるよう、特効薬である自己注射アドレナリン製剤（エピペン）を処方しています。

特 色

日本アレルギー学会の認定教育施設を受けています。複数のアレルギー疾患を抱えている人も多く、総合的な診療を行っています。総合病院の強みを生かし、耳鼻いんこう科、皮膚科などと連携をとっています。

お断りしている疾患等

アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎・結膜炎についての各科専門的な診療は当科では困難な場合があります。

◆紹介予約のご案内◆

ご紹介いただく際は、患者さんからの待ち時間短縮のため「医療機関からのFAX予約またはWEB予約」をご利用ください。患者さんには、診療情報提供書をお渡しいただきますようお願いいたします。

【FAX予約】専用FAX 047-712-2573 受付時間 8:30 ~ 17:00

【WEB予約※】<https://reservation.form.medigle.jp/matsudo/login> 24時間受付

※ご利用にあたっては事前登録が必要となります。

当院宛の診療情報提供書をお持ちの患者さんは、「患者さんからの電話予約」もご利用いただけます。

【電話予約】専用電話 047-712-0685 受付時間 8:30 ~ 17:00



●医師一覧

氏 名	役 職	出身大学	専門分野	紹介していただきたい疾患又は症状
海辺 剛志	部 長	名古屋市立大学	アレルギー性疾患 リウマチ・膠原病	アレルギー性疾患全般
高橋 健太郎	部長代理	千葉大学	アレルギー性疾患 リウマチ・膠原病	アレルギー性疾患全般
松木 彩子	医 長	千葉大学	アレルギー性疾患 リウマチ・膠原病	アレルギー性疾患全般

糖尿病・代謝・ 内分泌内科

Diabetes, Metabolism
and Endocrinology



部長
田代 淳

診療科挨拶

2021年より、糖尿病・代謝・内分泌内科を正式に標榜させていただいています。この分野での専門的な診療を行えるよう体制を整え、この分野での最適な医療を目指しています。

特に生活習慣に関連する疾患（糖尿病、脂質異常症、肥満症など）について、多職種によるチーム医療を実践し、他職種と共に研鑽を積みながら、地域医療の一助となるべく取り組んで参ります。

主な対象疾患、診療内容

- 糖尿病 ●脂質異常症
- 甲状腺疾患など内分泌疾患 ●肥満症

特 色

●糖尿病代謝疾患

糖尿病は、食事療法、運動療法を基礎に、インスリンを始めとした薬物療法や合併症治療など、多岐にわたる全人的な診療を目指し、医師だけでなく看護師、保健師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士など多くの

医療スタッフや、他の診療科と連携したチーム医療を推進しています。また、インスリンポンプ療法や血糖値持続モニターなどを用いた先進的な診療も行っています。脂質異常症には、家族性高コレステロール血症など難治性の原発性疾患を含んだ専門診療を行っており、肥満症についても行動療法などを併用した診療に当たっています。

●内分泌疾患

甲状腺疾患、副甲状腺疾患、間脳下垂体疾患や副腎疾患など多岐にわたります。これら内分泌疾患は、高血圧、肥満、糖尿病など日常的によくみられる病気や症状の中で隠れていることも、少なくありません。当科では、これらの病気に対して種々の負荷試験や画像検査を行い、専門的で注意深い診療を心がけております。

当院は日本内科学会、日本内分泌学会の認定教育病院の指定を受けています。

ご紹介いただくときの留意事項

紹介先が不明確な際には、総合診療科宛に紹介をお願いしています。ご紹介いただく内容に応じた適切な対応を心がけています。

お断りしている疾患等

特になし

◆紹介予約のご案内◆

ご紹介いただく際は、患者さんからの待ち時間短縮のため「医療機関からのFAX予約またはWEB予約」をご利用ください。患者さんには、診療情報提供書をお渡しいただきますようお願いいたします。

【FAX予約】専用FAX 047-712-2573 受付時間 8:30 ~ 17:00

【WEB予約※】<https://reservation.form.medigle.jp/matsudo/login> 24時間受付

※ご利用にあたっては事前登録が必要となります。

当院宛の診療情報提供書をお持ちの患者さんは、「患者さんからの電話予約」もご利用いただけます。

【電話予約】専用電話 047-712-0685 受付時間 8:30 ~ 17:00



●医師一覧

氏 名	役 職	出身大学	専門分野	紹介していただきたい疾患又は症状
時永 耕太郎	副院長 兼 内科部長	山形大学	糖尿病・代謝・内分泌	内分泌（甲状腺疾患など） 糖尿病・代謝疾患
田代 淳	副院長 兼 部長 他	千葉大学	糖尿病・代謝・内分泌	代謝（特に脂質異常症、肥満症）・ 糖尿病・内分泌疾患
大久保 友子	医 長	東海大学	代謝・内分泌	糖尿病・代謝・内分泌疾患
並木 俊樹	医 長	鹿児島大学	代謝・内分泌	糖尿病・代謝・内分泌疾患

感染症内科

Department
of Infectious Diseases



部長
高柳 晋

診療科挨拶

感染症内科は、現在、当院で診療されている下記対象疾患の方を対象に、さまざまな診療科・部門と連携の上で診療を行っております。（当科に入院のご相談はお引き受けしておりません。）

現在、院内からの紹介のみとなっております。

各医療機関からのご紹介につきましては、受け入れ体制が整い次第、ご案内させていただきます。

主な対象疾患、診療内容

- 一般感染症
- 細菌・ウイルス・真菌・寄生虫・結核
- 非結核性抗酸菌症
- HIV感染症
- 輸入感染症

特 色

感染症治療の他に下記の活動を行っています。

ICT（感染制御チーム）

院内で感染症のアウトブレイクが発生しないよう、病院内の抗菌薬の使用状況、微生物分離状況、環境整備などをモニタリングしています。

アウトブレイク発生時には、迅速にアウトブレイクが収束するように対策を講じます。医師・看護師・薬剤師・検査技師など多職種がチームとなり活動をしています。具体的な活動内容は下記の通りです。

- ICTラウンドの実施
- 院内における感染症の発生状況の把握
- AMR検出状況の把握
- アウトブレイク監視
- アウトブレイク発生時の対応
- 院内感染対策マニュアルの定期的な見直し、改訂
- 感染防止のための教育・啓発
- 全国サーベイランスへの参加
- 他医療機関との連携



AST（抗菌薬適正使用支援チーム）

薬剤耐性菌(AMR)は抗菌薬の不適切な使用などにより増加すると考えられています。抗菌薬の適正使用を推進することでAMR発生の抑制や、不適切使用に伴う有害事象の発生を減らすことを目標としています。ICT同様、多職種によるチームで活動をしています。具体的な活動内容は下記の通りです。

- 抗菌薬の使用状況のモニタリング
- 抗菌薬選択、投与量、投与期間に関するコンサルテーション
- 抗菌薬が長期間使用されている患者への診療支援
- 血液培養などが陽性となった患者への診療支援
- 培養検査の施行状況のモニタリング
- 抗菌薬使用指針の作成および更新
- 抗菌薬適正使用に関する教育・啓発
- 採用抗菌薬の定期的な見直し
- 他医療機関との情報共有と連携

地域支援

地域の医療機関や老人ホームなどで、新型コロナウイルスなど感染症の蔓延終息のための対策立案を目的として、各施設に訪問しています。

また、感染症の蔓延が生じないための対策指導も行っています。

感染対策実地支援に関する協定を結んだ医療機関への訪問

旭神経内科リハビリテーション病院など、定期的に協力体制をとっております。他の病院につきましても、協力できることがあればご相談ください。



感染制御チームによる院内ラウンド

●医師一覧

氏 名	役 職	出身大学	専門分野
高柳 晋	部 長	千葉大学	一般感染症・呼吸器感染症 抗菌薬適正使用・院内感染対策 HIV/AIDS・結核・抗酸菌感染症
浅野 裕一朗	医 長	宮崎大学	一般感染症・呼吸器感染症 抗菌薬適正使用・院内感染対策

総合診療科

General Medicine



部長
海辺 剛志

診療科挨拶

医療の専門化、高度化が進む一方、患者さんの状態を総合的に把握し適切な方向に導くことも医療の重要な役割です。当院でも多くの診療科があるなかで、どの科を受診したらよいかわからない方も少なくありません。そこで2009年から総合診療科を設置して、初診患者さんの初期対応やその後の振り分けを行っております。

また当院は千葉県内でも有数の医師教育機関でもあり、総合診療科での診療が医師育成にきわめて重要であるとの考えのもと、上級医の指導のもとで研修医に一部の診療を担ってもらっています。ご理解とご協力をお願いいたします。

主な対象疾患、診療内容

総合診療科は、診療情報提供書を持たずに受診された内科系疾患の患者さん、どこかの診療科を受診したら良いかわからない患者さんの初期診療を担当しております。当科で対応可能な疾患であればそのまま治療を行い、専門医の診察が必要と思われる場合は当該科に紹介させていただきます。

特 色

すでにいくつかの医療機関を受診されても診断がつかない患者さん、他院で治療を受けているのにもかかわらず改善に乏しい患者さん、全くの初診でどこに行ったらよいかわからない患者さんなど、方向性の決まっていない患者さんの初期対応をさせていただきます。可能であれば前医からの診療情報提供書、検査結果のコピーをご持参のうえ受診をお願いいたします。

また、他院での診察で、すでに受診する科が確定している方は、医療機関から各専門科（当科も含め）への予約が可能ですので、予約のうえで各科への受診をお勧めしております。

お断りしている疾患等

外傷に起因することが明らかである症例は直接当該科にご相談ください。また当院は精神科外来を設置していないため、精神疾患が強く疑われる症例は他院への受診をお願いしています。



◆紹介予約のご案内◆

ご紹介いただく際は、患者さんからの待ち時間短縮のため「医療機関からのFAX予約またはWEB予約」をご利用ください。
患者さんには、診療情報提供書をお渡しいただきますようお願いいたします。

【FAX予約】専用FAX **047-712-2573** 受付時間 **8:30 ~ 17:00**

【WEB予約※】<https://reservation.form.medigle.jp/matsudo/login> 24時間受付

※ご利用にあたっては事前登録が必要となります。

当院宛の診療情報提供書をお持ちの患者さんは、「患者さんからの電話予約」もご利用いただけます。

【電話予約】専用電話 **047-712-0685** 受付時間 **8:30 ~ 17:00**



●医師一覧

氏 名	役 職	出身大学	専門分野	紹介していただきたい疾患又は症状
海辺 剛志	部 長	名古屋市立大学	一般内科・アレルギー リウマチ・膠原病	診断がつかず困っている症例
安藤 拓志	部 長	千葉大学	呼吸器	
高村 大	部 長	千葉大学	呼吸器	
高橋 健太郎	部長代理	千葉大学	一般内科・アレルギー リウマチ・膠原病	
松木 彩子	医 長	千葉大学	一般内科・アレルギー リウマチ・膠原病	

血液内科

Hematology



部長
藤川 一壽

診療科挨拶

当科では、常勤医3名、非常勤医1名の計4名で診療にあたっています。
相談しやすい雰囲気となるよう、一人ひとりに寄り添う診療を心掛けております。

主な対象疾患、診療内容

急性・慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの造血器悪性腫瘍、骨髄異形成症候群、再生不良性貧血および特発性血小板減少性紫斑病などの血液造血系疾患を中心に診療を行っております。

●対象疾患

- 貧血（再生不良性貧血・赤芽球癆・巨赤芽球性貧血・溶血性貧血）
- 急性白血病・慢性白血病
- 骨髄異形成症候群
- 骨髄増殖性腫瘍（真性多血症・本態性血小板血症・骨髄線維症など）
- 悪性リンパ腫
- 多発性骨髄腫・マクログロブリン血症
- 特発性血小板減少性紫斑病
- 出血性疾患

特 色

無菌病床6床を有し、急性白血病の寛解導入をはじめ、造血幹細胞移植も行っております。

ご紹介いただくときの留意事項

悪性リンパ腫などに対する抗がん剤治療、慢性貧血に対する輸血療法は通院で行っております。

お断りしている疾患等

特になし



◆紹介予約のご案内◆

ご紹介いただく際は、患者さんからの待ち時間短縮のため「医療機関からのFAX予約」をご利用ください。
患者さんには、診療情報提供書をお渡しいただきますようお願いいたします。

【FAX予約】専用FAX 047-712-2573 受付時間 8:30～17:00

当院宛の診療情報提供書をお持ちの患者さんは、「患者さんからの電話予約」もご利用いただけます。

【電話予約】専用電話 047-712-0685 受付時間 8:30～17:00

●医師一覧

氏 名	役 職	出身大学	専門分野	紹介していただきたい疾患又は症状
藤川 一壽	部 長	千葉大学	血液全般	白血病・悪性リンパ腫 多発性骨髄腫・各種貧血 出血性疾患・血小板減少性疾患
布施 弘恵	副部長	北海道大学	血液全般 化学療法	
相関 祥穂	医 長	山梨大学	血液全般	
山崎 美貴	非常勤医	北海道大学	血液全般	

消化器内科

Gastroenterology



部長
森居 真史

診療科挨拶

常日頃から当科の診療、運営にご理解ご支援いただきありがとうございます。当科は現在7名の常勤医師と4名の非常勤医師で診療にあたっております。

当院は、日本消化器病学会認定施設・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設・日本肝臓学会専門医制度認定施設として認定されており、さらに、地域がん診療連携拠点病院にも指定されていることから、当科としてもよりレベルが高いがん診療を行うことを目指しております。

一方、吐血や胆管炎といった消化器emergencyの対応も重要な柱であり、当科は松戸市の公立病院として、安心できる医療を提供することも目標としております。
また昨年より松戸市の胃がん内視鏡検診も始めました。
お困りの症例など気軽に紹介いただくと幸いです。

主な対象疾患、診療内容

●肝疾患

肝障害、肝炎、肝がん

●胆膵疾患

胆嚢炎、胆管炎、総胆管結石、膵炎、胆膵悪性腫瘍

●消化管疾患

内視鏡治療、炎症性腸疾患、消化管悪性腫瘍、胃潰瘍、胃腸炎など

◆紹介予約のご案内◆

ご紹介いただく際は、患者さんからの待ち時間短縮のため「医療機関からのFAX予約」をご利用ください。
患者さんには、診療情報提供書をお渡しいただきますようお願いいたします。

【FAX予約】専用FAX 047-712-2573 受付時間 8:30 ~ 17:00

当院宛の診療情報提供書をお持ちの患者さんは、「患者さんからの電話予約」もご利用いただけます。

【電話予約】専用電話 047-712-0685 受付時間 8:30 ~ 17:00

●医師一覧

氏 名	役 職	出身大学	専門分野	紹介していただきたい疾患又は症状
岡部 真一郎	病院長	千葉大学	消化器全般	肝臓
森居 真史	部長 兼 内視鏡センター長	千葉大学	消化器全般	肝臓・内視鏡治療
西川 貴雄	副部長	山梨大学	消化器全般	胆膵疾患
芳賀 祐規	医 長	千葉大学	消化器全般	内視鏡治療
山本 孝志	医 長	千葉大学	消化器全般	内視鏡治療
山崎 春佳	医 長	山形大学	消化器全般	内視鏡治療
山田 敦啓	医 長	北里大学	消化器全般	
阿南 祐輝	医 員	千葉大学	消化器全般	

特 色

●消化器疾患全般において地域完結型の医療を目指しております。現在は肝疾患、内視鏡治療に力を入れておりますが、困った症例や専門医の診察を希望される方がおられましたら、ご紹介いただければ、ニーズに合わせて対応させていただきます。

また、悪性疾患については、外科、化学療法内科、放射線治療科の医師とも密な連携をとり、治療方針を決定しております。

●代表的な検査件数としては、2024年度は上部内視鏡3,391件、下部内視鏡1,800件、ESDなど66件、ERCP 180件、血管造影11件、RFA/MCT35件です。

ご紹介いただくときの留意事項

●地域医療支援病院として、地域からのご紹介をいただけると幸いです。連絡をいただければ、入院治療も含めて極力対応させていただきたいと思っております。

●エコー検査や上部内視鏡検査などについても、下記の「FAX予約」制度をご利用ください。

3日以内に結果を郵送するよう心がけておりますので説明をよろしく申し上げます。

お断りしている疾患等

●カプセル内視鏡

※クローン病や重度の潰瘍性大腸炎は状況によっては他院へ紹介させていただくことがございます。

脳神経内科

Neurology



部長
西村 寿貴

診療科挨拶

脳神経内科では、内科が行う脳卒中診療に力を入れております。外科手術適応に関しても内科の目から適応を判断することができる診療力があると思います。

少数での診療のため、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、患者さんのご紹介を宜しくお願いいたします。

主な対象疾患、診療内容

●虚血性脳血管障害

●神経感染症および類縁疾患

髄膜炎、脳炎・脳症、脊髄炎・脊髄症

●免疫性神経疾患

多発性硬化症／視神経脊髄炎、急性散在性脳脊髄炎、重症筋無力症、ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、多発性筋炎／皮膚筋炎、傍腫瘍性神経症候群など

●変性疾患

パーキンソン病、ハンチントン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、筋萎縮性側索硬化症、アルツハイマー型認知症など

●機能的神経疾患

頭痛、てんかんなど

●内科的疾患に伴う神経疾患

特 色

- 当院は日本脳卒中学会より一次脳卒中センター(PSC)に認定されており、脳神経外科とともに、24時間体制で脳卒中治療を行っております。
- 当院は急性期疾患を扱う病院であり、当科も神経系急性疾患である血管障害、感染症（脳炎、髄膜炎など）、免疫性神経疾患（多発性硬化症、重症筋無力症、ギラン・

バレー症候群など）の治療を行っております。一方、神経難病とも言われている各種変性疾患に対しても、的確な診断と治療に心がけております。必要に応じてソーシャルワーカーと連携し、治療に伴う社会保険制度の利用や在宅診療への相談・調整についても支援しております。

- common diseaseである頭痛、てんかん、めまい、しびれなどに対しても的確な診療を心がけております。眼瞼攣縮、片側顔面攣縮に対してはボツリヌス治療を施行しております。
- 脑梗塞やてんかんの患者さんに関しましては、原則、地域の先生にお戻しすることもございますので、ご了承くださいませようお願いいたします。
- アルツハイマー型認知症で抗アミロイド薬適応がある患者さんについては、現在当院では治療を行っていないため、施行可能な病院を御紹介させていただきます。

ご紹介いただくときの留意事項

- 神経疾患は多種多彩であり、簡単に診断できない症例が数多くあるかと思われます。診断がつかなくても、何らかの神経症状を呈している場合は遠慮なくご紹介ください。

- ご紹介に際しては、2024年4月より完全紹介予約制となっておりますので、患者さんに診療情報提供書をお渡しいただき、事前に下記方法にてご予約をお願いします。

なお、急を要する場合は、**医療機関専用ダイヤル 047-712-2585**までご一報頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

お断りしている疾患等

近年、てんかん患者のご紹介が増えています。てんかんは脳神経内科だけでなく脳神経外科、精神科といった多くの科で診療しておりますので、総合病院からの依頼については検査のみにさせていただきます。

◆紹介予約のご案内◆

ご紹介いただく際は、患者さんからの待ち時間短縮のため「医療機関からのFAX予約またはWEB予約」をご利用ください。患者さんには、診療情報提供書をお渡しいたしますようお願いいたします。

【FAX予約】専用FAX **047-712-2573** 受付時間 **8:30 ~ 17:00**

【WEB予約※】<https://reservation.form.medigle.jp/matsudo/login> 24時間受付

※ご利用にあたっては事前登録が必要となります。

当院宛の診療情報提供書をお持ちの患者さんは、「患者さんからの電話予約」もご利用いただけます。

【電話予約】専用電話 **047-712-0685** 受付時間 **8:30 ~ 17:00**



●医師一覧

氏 名	役 職	出身大学	専門分野	紹介していただきたい疾患又は症状
西村 寿貴	部 長	熊本大学	臨床神経学・脳血管障害	脳血管障害
岩井 雄太	副部長	千葉大学	臨床神経学・末梢神経／筋疾患	神経筋疾患
神林 美羽	医 員	弘前大学	臨床神経学	
旗原 昌志	医 員	山梨大学	臨床神経学	
中谷 麻里菜	医 員	千葉大学	臨床神経学	

呼吸器内科

Respirology



部長
船橋 秀光

診療科挨拶

呼吸器疾患の診断や治療方針で悩むような場合には、当科で診断や治療方針のアドバイスなどできるだけご協力させていただきたいと思います。遠慮なく、ご紹介ください。

主な対象疾患、診療内容

肺がん、その他呼吸器疾患一般

特 色

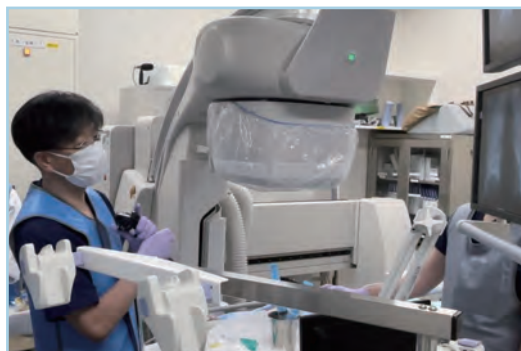
- 呼吸器内科は肺がん診療を中心に、呼吸器疾患全般に対応しています。
- 肺がんに関しては、気管支鏡による診断から抗がん剤、分子標的薬などの最新の化学療法を行っています。
- 手術可能な症例や放射線治療を併用する症例は、呼吸器外科や放射線科と連携を取りながら迅速な対応をしています。
- 肺がん以外の疾患に関しても、重症から不安定な症例を優先して対応するようにしています。

ご紹介いただくときの留意事項

当科にて治療後、慢性期の状態や安定した状態になった場合は、できるだけ早い段階で逆紹介をさせていただきます。

お断りしている疾患等

特になし



◆紹介予約のご案内◆

ご紹介いただく際は、患者さんからの待ち時間短縮のため「医療機関からのFAX予約またはWEB予約」をご利用ください。患者さんには、診療情報提供書をお渡しいただきますようお願いいたします。

【FAX予約】専用FAX **047-712-2573** 受付時間 **8:30 ~ 17:00**

当院宛の診療情報提供書をお持ちの患者さんは、「患者さんからの電話予約」もご利用いただけます。

【電話予約】専用電話 **047-712-0685** 受付時間 **8:30 ~ 17:00**

※**肺がん疾患のみ**WEBからのご予約が可能です。ご利用にあたっては事前登録が必要となります。

【WEB予約※】<https://reservation.form.medigle.jp/matsudo/login> **24時間受付**



●医師一覧

氏 名	役 職	出身大学	専門分野	紹介していただきたい疾患又は症状
船橋 秀光	部 長	聖マリアンナ医科大学	呼吸器疾患一般	肺がん
石崎 俊介	副部長	千葉大学		